

オーナーさまのコラム

「食のことわざ物語」

第4話「土用の丑の日の鰻」

「鰻」は海で孵化した稚魚(白子鰻)は発育して黒色小型の姿へと成長し、川を遡って成魚となります。移動性が強く7~8年間は淡水(川・沼・湖)で過ごして、海へと下り産卵します。

夏の土用(立春・立夏・立秋・立冬の前18日間のこと。特に立夏・立秋の前の18日間)の丑の日(土用の子・丑・寅の3日間に焼いた鰻で丑の日が一番うまい)に食べる習慣は江戸時代中期からと言われています。

さて「蒲焼」の語源ですが、代表的なのは2節です。その①昔は「鰻」を2~3ツにぶつ切りにして焼いた「姿」が河岸に生える茶褐色(蒲色)の穂に似ているという説。

その②1匹の「鰻」を「縦」に串をさした形が「蒲の穂」に似ているという説です。(※注 蒲=かわやなぎ)

「鰻」のさき方は関東と関西ではことなり、関東は「背開き」で、関西は「腹さき」です。関西(京都、大阪)の方面に鰻を蒸した蒲焼を「まむし(真蒸)」と言う方言があります。

「杖のごとき永良部鰻の黒焼よ」
(高木冬彦)

完

次回は「鴨が葱を背負って来る」です。

真野美容専門学校 評議員 薬剤師 内藤 良太

社員のフログ

50周年

上野動物園に日本で初めてジャイアントパンダが来園したのは、1972年10月のこと今年で50周年を迎えました。

パンダは現在も大変な人気で中国からの来日や返還、赤ちゃんの誕生などがニュースで取り上げられています。世代を問わず人気を博しているパンダ、未だ衰えることを知りません。

私もパンダの魅力に惹かれた一人です。休みがあれば足繁く上野動物園へ通っています。小さい頃、母に手を引かれ幼いながら目にした白黒でその丸っこいフォルム、ころころふわふわの可愛さに虜になりました。それから全国のパンダに会いに行くようになり、好きが高じて過去には和歌山県にあるアドベンチャーワールドへパンダのお世話が出来る飼育員の体験にも参加しました。可愛いだけでなく、自分より大きいその迫力に感動したので今でも覚えています。

パンダは一歳から二歳頃にかけて親から離れてひとり立ちをします。ひとり立ちの後には、もう親子で一緒に過ごすことはありません。単独動物なので縄張り争いが起こってしまうからです。

自分自身に置き換えて考えてみると自立して社会に出るまで、たくさんの時間をかけてくれた親に本当に感謝をしなければいけないと思い、そんなパンダの生態の背景を知ると私も逞しく生きていこうと深く考えさせられます。

パンダの性格や外見、特徴が詳しくより近くで観覧でき、50周年の歴史を感じるためにも一度、上野動物園へ会いに行ってみるのもおすすめです。

本店管理営業部 小林 幸生

不動産にまつわる ご相談 (無料)!!

懇切丁寧にわかりやすく実益を目指して。
お気軽に信和不動産までご相談下さい。

電話 03-3323-0521 メール info2@0007.co.jp

地域生活情報誌
Vol. 176
2023
新年号



だ
い
たら
ぼ
ち



創業70周年

~私達の喜びはお客様の笑顔です~
信和不動産株式会社

お部屋探しは 信和のホームページで!
<https://www.0007.co.jp>
facebook も更新中▼
<http://www.facebook.com/shinwafudosan>
皆様の多様なニーズに即応します。



東松原本店 (井の頭線東松原駅前)
世田谷区松原 5-2-3 信和ビル1階
TEL (03) 3323-0521 / TEL (03) 3323-0525(売買部直通)

梅ヶ丘店 (小田急線梅ヶ丘駅前)
世田谷区梅丘 1-24-2 佐野ビル1階/TEL (03) 3425-6145

<信和グループ>
アパマンショップ東松原店
株式会社レントネット信和
(井の頭線東松原駅前)
世田谷区松原5-57-7 第1片野ビル2階/TEL (03) 3321-2123



~ 毎週 火曜日・水曜日 定休 ~

円満相続シリーズ

振り子の原理



金太郎飴はどこを切っても同じ顔が出てきます。嘘をつかず、見栄をはらず、背伸びをせず、ブレることもなく、有りのまま正直に生きていく、一番楽チンな生き方かも知れません。

50歳を機に人生の後半を、相続一筋に一生懸命歩んできました。今でこそ相続では名を知られていますが、転業当初は元GSマンのイメージが強く、あまり相手にしてもらえませんでした。

ワンストップサービスを看板に、これまでに数多くの相続を丁寧に手掛けてきました。お蔭で多くのお客様から感謝されています。

相続は人生のなかで避けて通れません。遺産分割の話しあいでも一歩譲った人は、その後に運とツキに恵まれ幸せになります。欲得を通しうばった人は、その後に大事なものを失います。この不思議な事実が「振り子の原理」であると知りました。

「入ったものは出る、出たものは入る」「取れば取られる、与えれば与えられる」「降った雨は水蒸気となり天へ帰り、雲となって再び地表に降り注ぐ」「潮は干満する」「吐く息があれば吸う息がある」

右に振られた振り子の錘は必ず左に振り返します。物事はこの振り子のように、相反する2つの方向に動いていて発する方と還る方に連動しています。これが「振り子の原理」です。原理とは一定の条件の下でいつも変わらず成立する関係です。

その昔エリートたちが競って就職した銀行や証券会社は、栄華をきわめました。が、儲けることばかりを考えていると、いつかは衰退し朽ち果てます。栄枯盛衰も「振り子の原理」です。

バブル期、玄人や素人までが入り乱れ、株や土地投機、儲かった！泡よるこびもつかの間、バブル崩壊でアツという間に無一文です。株や土地を恨んでもしかたありません。すべて自己責任です。

相続は恨み辛みが出る最たるものです。恨み辛みはどこかで断ち切らねばエンドレスとなり延々と続きます。ある相続で隣接地主に協力を求めにいくと、奥様から「お父さんの恨みは私が相続します」と拒否されました。ご主人が生前に境界問題で辛い思いをさせられたそうです。恨みは連鎖し元に還ります。

江戸時代には親の恨みをはらす仇討ちが「仇討免許状」のもと、公然と認められていました。しかし、仇討の仇討は恨みの連鎖を防ぐため禁じられていました。人を恨んでいたり、嘘をついたり、騙したり、不幸を与えたりすれば、必ずやどこかで我が身に還ってきます。「うばいあえば足らぬ わけあえばあまる うばいあえば憎しみわけあえば安らぎ」この言葉（相田みつを）は、正に「振り子の原理」ではないでしょうか。

遺産はご先祖様や親が苦勞し残してくれたものです。うばいあえば一族の不幸せ、しいては国の力を弱めます。感謝の気持ちと譲る心を持って臨むなら相続人は皆幸せになるでしょう。

有限会社アルファ野口 代表取締役・NPO法人相続アドバイザー協議会評議員

野口 賢次

有限会社アルファ野口 TEL. 044-422-1337 FAX. 044-455-0208
〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子 538 番地メルベージュマルダ 1F

年頭のご挨拶



私の父である前代表取締役社長 小林幸孝がこの世を去り、約2ヶ月が経ちました。今でも職場や東松原の街中では父の面影が残り、パワフルで大きな声が聞こえてきそうな気がします。

父がよくカラオケで歌っていた曲があります。それは石原裕次郎さん（以下、裕次郎さん）の「俺の小樽」です。小樽は父の生まれ故郷であり、裕次郎さんも幼少期を小樽で過ごしていたようです。今回は父と裕次郎さんの話をしたいと思います。

-歌詞一部抜粋-

**遠い季節を 語る運河には 釣りを教えた 親父を映す影
レンガの倉庫は 変り果てたまま
おれの小樽の としつきを 迎れば ころろに 雪がふる**

ご存知の方も多いかと思いますが、父は大学進学と同時に上京し、銀行に勤めました。その後、母と結婚し養子に入り信和不動産に入社し、会社の発展に尽力してまいりました。

そんな父も故郷を想い、この歌に自分を重ねて歌っていたのでしよう。

私の世代ではあまり馴染みがないのですが、「太陽にほえろ！」という刑事ドラマは有名ですね。主人公役の裕次郎さんは威厳と包容力を併せ持った理想的な上司ですが、実際の裕次郎さんは、見たことのない新人俳優に自分から立ち上がり自己紹介した上で握手して激励するなど、おおらかで余裕と気遣いがあり、やさしく人間の大きい人だったそうです。

そんな裕次郎さんが発した有名な名言があります。

「人の悪口は絶対口にするな。人にしてあげたことは、すぐ忘れる。人にしてもらったことは、絶対忘れるな。」

これは裏を返せば自分がしてほしくないことは人にするな。感謝の気持ちを忘れるな。ということだと思います。

私は父から人の悪口は聞いたことがありません。いつも感謝の言葉を口にしていました。裕次郎さんも石原プロが経営危機の時にも映画への情熱を失わずにいたそうです。大変な時、文句も言いたくなりますがそんな時こそ、前向きでいたいものですね。

昨今のコロナ禍でもわかるように不動産市場は様々な方向から影響を受けています。原材料高騰による建築費への圧迫、少子高齢化、インフレ、急激な円安、生産緑地の2022年問題等、課題が様々ありますが、この苦境を乗り越え、皆様のご期待に添えますよう尽力していく所存です。

2023年は卯年です。皆様におかれまして飛躍の一年になりますよう謹んで申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

代表取締役 小林 雅和